

科目名	成人看護Ⅲ (血液造血・呼吸・循環機能障害の看護)					DP3 DP4		看護高等課程	
学年	1 年	分野	専門 成人看護	時間数	25 時間	担当 教員	古川 美佐 (8.5)、諸岡 怜香 (8.5)、 木村 由香 (8)		
科目 概要	看護職者として必要な血液造血・呼吸・循環機能に障害のある患者の看護について学ぶ。								
到達 目標	1. 主な血液・造血管疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 2. 主な呼吸器の疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 3. 主な循環器の疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1～4	血液・造血管疾患患者の看護			看護の目的、患者の特徴（身体的・心理的・社会的問題） 看護の役割、家族への援助、経過別看護				講義	古川
				主な症状と看護（貧血、発熱、出血傾向、易感染状態）					
				検査・治療・処置に伴う看護 （化学療法、輸血療法、放射線療法、造血幹細胞移植）					
				主な疾患患者の看護 （再生不良性貧血、白血病、悪性リンパ腫、 播種性血管内凝固症候群）					
5～8	呼吸器疾患患者の看護			看護の目的、患者の特徴（身体的・心理的・社会的問題） 看護の役割、家族への援助、経過別看護				講義	諸岡
				主な症状と看護（咳嗽、喀痰、呼吸困難、血痰・喀血、胸水）					
				検査・治療・処置に伴う看護 （肺生検、気管支鏡検査、動脈血採血、胸腔ドレナージ、 酸素療法、人工呼吸）					
				主な疾患患者の看護 （肺炎、間質性肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、 肺血栓塞栓症、肺がん、気胸）					
9～12	循環器疾患患者の看護			看護の目的、患者の特徴（身体的・心理的・社会的問題） 看護の役割、家族への援助、経過別看護				講義	木村
				主な症状と看護（動機、不整脈、高血圧、呼吸困難感、胸痛、浮腫）					
				検査・治療・処置に伴う看護 （心電図、心臓超音波検査、心臓カテーテル、植込み型 ペースメーカー、経皮的冠動脈インターベンション）					
				主な疾患患者の看護 （高血圧症、虚血性心疾患、心不全、不整脈、大動脈 瘤、大動脈解離、下肢静脈瘤）					
13	試験（1 時間）							試験	
評価 基準	古川（30 点）・諸岡（35 点）・木村（35 点）の計 100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。								
評価 方法	出席状況及び講義・演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。								
教科書	看護学入門 8 成人看護 I 必要時、資料等は配布する。								
履修上の 注意点									